

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（高校生用音楽 I（教育芸術社））

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	合唱『校歌』『翼をください』 【Caro mio ben】 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけて、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う	・歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ・歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲の雰囲気や味わいを理解して歌唱する ・旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ・イタリア語の発音の特徴を理解する ・イタリア語のアクセントやリズムと旋律との関わりを理解する ・歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌う	○	○	○	【知識及び技能】 ・曲想と歌詞との関わりについて理解している ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	8
	西洋音楽史『中世ルネサンス～バロック時代の音楽』 西洋音楽史の16世紀から18世紀ごろの作品を時代区分鑑賞をする	・ルネサンス時代・バロック時代の作曲家について学ぶ ・作品の特徴を理解して鑑賞する ・時代背景と作曲家との関係について理解する。			○	【知識及び技能】 ・様々な楽器の音色を知覚し、作曲家の時代背景などを理解しその楽曲の良さを味わいながら鑑賞できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞をした時に感じた感想をわかりやすい表現で表すことができる。	○	○		4
	合唱『合唱祭のための基礎練習』 合唱祭に向けて混声合唱曲に取り組むことで、基礎的な唱法を理解する	・ピアノ伴奏付きの合唱曲に取り組む、伴奏に合わせながら歌う ・歌詞の内容を理解して表現を考えながら工夫して歌う	○			【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解してイメージをもって表現している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声・演奏法・楽譜の読み方などを身に付け、学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	8
2 学 期	楽典『楽譜、音名、音符と休符』 音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する	・楽譜のしくみを理解する ・英・独・伊・日の音名を理解する ・音楽表現記号を理解する ・音符や休符といった、音楽を再現するために必要な知識を理解する			○	【知識及び技能】 ・音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽表現記号が実際の楽譜にどのように生かされているかを分析し、理解している	○	○		6
	リズム創作『クラッピング カルテット 第1番』 手拍子やポディーパーカッション、唱歌、打楽器などを用いて音楽を工夫したり、リズムパターンシヨク、唱歌、打楽器などを組み合わせて、リズムパターンを音色豊かに、生き生きと演奏する ・音の素材やリズムを工夫し、テーマを表現する	・グループを組み、『クラッピングカルテット』を演奏できるようにする ・リズムパターンを躍動感をもって表現する ・手拍子やポディーパーカッション、唱歌、打楽器などを組み合わせて、リズムパターンを音色豊かに、生き生きと演奏する ・音の素材やリズムを工夫し、テーマを表現する	○	○		【知識及び技能】 ・曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解している ・創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、楽器で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	器楽『ギターの基礎奏法』 ギターの構造や奏法などについて理解するとともに、簡易な楽曲を通して器楽合奏に親しむ	・ギターの構造や基礎的な奏法を理解する ・ギターで音階を演奏する ・『木星』などの簡易な楽曲の練習に取り組む ・完成した作品をグループごとに発表する	○			【知識及び技能】 ・ギターの基礎的な知識、技能を習得する ・音楽材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを表現する技能を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人や器楽アンサンブルで演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	12
3 学 期	楽典『拍子、音程』 音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する	・拍と拍子の違いを理解する ・音の構造を理解する ・音程の概念を理解する			○	【知識及び技能】 ・音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 ・拍子や音程などが実際の楽譜にどのように生かされているかを分析し、理解している	○	○		6
	西洋音楽史『古典派～ロマン派の音楽』 世界各地の民族音楽に触れ、特徴を理解し、楽器や背景などとの関わりについて理解する	・ルネサンス時代・バロック時代の作曲家について学ぶ ・作品の特徴を理解して鑑賞する ・時代背景と作曲家との関係について理解する。			○	【知識及び技能】 ・様々な楽器の音色を知覚し、作曲家の時代背景などを理解しその楽曲の良さを味わいながら鑑賞できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞をした時に感じた感想をわかりやすい表現で表すことができる。	○	○		4
	合唱『アカペラの合唱』 無伴奏の混声合唱曲に取り組むことで、ハーモニーの作り方を模索しながら歌唱する	・無伴奏の合唱曲に取り組む、他声部の音を聞きながら歌う ・歌詞の内容を理解して表現を考えながら工夫して歌う ・伴奏有りの合唱曲との違いを味わう	○			【知識及び技能】 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している ・創意工夫を活かした発声・音の出し方を身に付けている ・正しい音色やリズムなどの知識を身に付けて演奏できる 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲想や歌詞との関わりを理解してイメージをもって表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ・正しい発声・演奏法・楽譜の読み方などを身に付け、学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	10
鑑賞『ミュージカル音楽』 総合芸術としてのミュージカルを音楽とシナリオの時代背景などとともに、総合的に理解し、鑑賞する	・ミュージカルの本場であるアメリカのブロードウェイの歴史について理解する ・教科書の『ウェストサイドストーリー』に関する記事を理解したうえで鑑賞する			○	【知識及び技能】 ・ブロードウェイミュージカルの文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している 【学びに向かう力、人間性等】 ・ミュージカル音楽に関心をもち、主体的に鑑賞に取り組もうとしている	○	○		6	

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（美術 1 光村図書）

教科 芸術

の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す

【知識及び技能】

美術作品、造形物、自然物、生命感や心情、精神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を工夫したりするなどして、創造的に表す技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術作品、造形物、自然物、生命感や心情、精神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を工夫したりするなどして、創造的に表す技能を身につける。	主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。	主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 影	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	【絵画】自画像	内容：自身の顔を見つめ、漫画調になることなく素直に自分自身を描く。丁寧な観察を何より大切に、てらいなく紙面に表現する。 指導事項：構図、光の捉え方、鉛筆の基本的な使用方法等 教材：鏡（一人1台）、鉛筆、半紙	○		○			4	
	【絵画】風景画	内容：自身の周りに広がる風景に興味を持ち、その中で気になる風景を色鉛筆によって描く。狙いにより効果的な構図等を選び、丁寧な観察を大切に、描くことを目指す。 指導事項：構図、光の捉え方、重色技法等 教材：色鉛筆、画用紙	○		○		8		
	【デザイン】レタリング・絵画技法	内容：次課題のポスター制作に必要な技法等を学ぶ。 指導内容：レタリングの効用、制作方法、絵の具による平塗り、グラデーション等の方法 教材：アクリル絵の具、画用紙、定規	○				○	4	
	【デザイン】翔陽祭ポスター	内容：ポスターの効用を理解し、翔陽祭（文化祭）用のポスターを制作する。優秀作は学外掲示の可能性があるので、著作権についても留意しながら制作する。 指導内容：デザインの発想方法、絵の具による技法各種等 教材：アクリル絵の具、画用紙、定規、コンパスなど	○		○		○	10	
2 学 期	【映像メディア】絵コンテ	内容：映像作品における絵コンテの役割を学び、自身でも絵コンテを制作する。ストーリーの考案、カメラワーク等を意識しながら制作する。 指導内容：絵コンテについての説明 教材：プリント、画用紙、色鉛筆			○		○	4	
	【彫刻】木彫	内容：立体であることを意識し、平面ではできない立体ならではの表現を目指し、デザインの考案、彫りによる彫刻を行う。彩色等、仕上げの方法も学ぶ。 指導内容：立体デザイン法、彫刻技法 教材：木彫用木箱、彫刻刀、アクリル絵の具、ニス等	○		○		○	20	
3 学 期	2学期 【絵画】デッサン (グラデーション課題を含む)	内容：次の課題である日本画に先立ち、テーマに沿って自身で選んだモチーフを描く。1年間学習した成果を踏まえ、心を込めて描くことを旨とする。 指導内容：箔張り技術、水彩画技法等 教材：日本画ボード、金箔、アクリル絵の具等	○				○	6	
	【絵画】日本画	内容：日本画の伝統技法である箔張りの技術を学び、テーマに沿って自身で選んだモチーフを描く。1年間学習した成果を踏まえ、心を込めて描くことを旨とする。 指導内容：箔張り技術、水彩画技法等 教材：日本画ボード、金箔、アクリル絵の具等	○				○	14	
								合計	70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科： 芸術 科目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 書道Ⅰ 東京書籍 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。	作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
A 書写から書道へ 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 書写で学んできたこと。用具・用材。漢字の書の成立と変遷。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○					4
1 学 期 B 漢字の書 楷書 【知識及び技能】表現・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 古典に基づく学習。 楷書の特徴 表現を比べよう。「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	○		○						18

<p>C 創作 表現の使い分け 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 古典を生かそう。書のみや風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>D 漢字の書 行書</p> <p>【知識及び技能】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 行書の特徴 「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
<p>2学期 E 創作 四字熟語 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 古典を生かそう。書のみや風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

	<p>F 平仮名の単体</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項 仮名の成立</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>					<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>				8
	<p>G 書初め</p> <p>【知識及び技能】書初めの歴史的背景を知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。</p>	<p>・指導事項 書初め</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>					<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 書初めの歴史的背景を知る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解している。漢字と平仮名のバランスを考えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。</p>				2
	<p>H 散らし書き</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項 全体構成</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>					<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>				4
3 学 期	<p>I 漢字仮名交じりの書 創作</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 漢字仮名交じりの書の変遷。表現を比べよう 表現の工夫。紙面構成。</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>					<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>				10
											合計
											70

※各単元の「知識・技能」には、評価規準として設定はしていないが、下記〔共通事項〕も評価において配慮できるようにする。
〔共通事項〕・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。
・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。